NEWS RELEASE

2026 年 11 月 26 日

アイリスオーヤマ、創業の地・東大阪市と包括連携協定締結
災害対策、子育て支援、産業振興支援などで連携
地元企業などを対象にしたアイリスオーヤマ会長の特別記念講演も実施



※包括連携協定式（左：アイリスオーヤマ株式会社 代表取締役会長 大山 健太郎、右：大阪府東大阪市長 野田 義和 様）

アイリスオーヤマ株式会社（本社：宮城県仙台市、代表取締役社長：大山 晃弘）は、創業の地である大阪府東大阪市（以下、東大阪市）と 2026 年 11 月 26 日に包括連携協定を締結しました。

当社は 1958 年に、東大阪市においてプラスチックの下請け工場として大山ブロー工業所を創業しました。現在では家電や食品に加え、LED 照明やサービスロボットなど様々な事業を展開し、事業規模を拡大しています。こうした事業活動の中で、工場や事務所が所在する自治体を中心に包括連携協定および防災協定を締結し、地域課題の解決や住民サービスの向上に向けた取り組みを推進してきました。

協定式当日は、「企業版ふるさと納税」としてポータブルクーラーを寄贈したことに対する感謝状贈呈式も併せて実施しました。東大阪市は、政令指定都市を除く市町村において製造業の事業所数が全国最多※であることから、締結式後には、地元企業の経営者などに向けて、同市出身の当社代表取締役会長の大山が協定締結特別記念講演を実施しました。

■協定内容

当協定により、東大阪市と当社は相互の連携を強化することで、双方が保有する資源を有効に活用して地域の活性化を推進します。災害発生時に必要となる支援物資の供給や、新たな感染症流行の際に必要となる物資の支援において連携します。また、子育て支援では、紙おむつの提供のほか、子ども食堂への食品提供に関する取り組みを進めます。産業振興においては、市内事業者とアイリスグループとのビジネスマッチングの促進や、経営セミナーの実施などを検討しています。

【東大阪市長 野田 義和 様 より】

東大阪市で創業し、本市のものづくりの精神を受け継ぎながら成長され、現在も市内にグループ会社を構えるアイリスオーヤマと包括連携協定を締結でき、大変嬉しく思います。本協定の締結に先立ち、教育現場へポータブルクーラーをご寄贈いただき、心より感謝申し上げます。自然災害が増える中、同社の製品開発や災害支援に関する豊富な知見を活かしながら、幅広い分野で連携を深め、市民サービスの向上と地域の発展につなげてまいります。

【アイリスオーヤマ株式会社 代表取締役会長 大山 健太郎 より】

創業の地である東大阪市と包括連携協定を締結できましたことを、大変嬉しく思います。当社は本社移転後に東日本大震災を経験し、災害時には必要な物資や支援を迅速に届けることの重要性を実感しました。全国 16 工場の供給体制を活かした安定的な支援に加え、幅広い事業領域における連携を通じて、東大阪市の発展に貢献してまいります。

※：統計局「令和 3 年経済センサス - 活動調査」参照。